

おひさまがよろ

No.8

平成 25 年 6 月 発行

今日も元気に、おひさま・開店！

三月の交流会に書家の砂川雅美さんをお招きして、暖簾づくりをチャレンジしました。

特殊な墨を使って、皆さんの手型をペタペタ：赤・青・緑、色とりどりの墨を使い、パツ！と元気に開いた手、お行儀良く指を揃えた手、大きな手、ふくよかな手、赤ちゃんの小さな手：

白い布がカラフルな手型で染められた後、砂川さんに書き入れていただいた「おひさま」の文字はとても力強く、見応えある仕上がりになりました。

参加者の皆さまが、おひさまの暖簾をくぐって会場に来てくださる姿を眺めては、「いいのが出来たなあ」とスタッフも大満足です。

八月には、再び砂川さんにお越しいただき、オリジナルTシャツを作ります、楽しみですね！



キメの一字「充」!!

H25. 3. 16

書くトコないやん...

大きな筆に、大きな半紙... 楽しい~♪

おひさまの暖簾ができました!

おひさまのプログラム

半年前に開始した地域清掃活動も、今ではすっかりおひさまの定番プログラムになりました。

軍手を着けて、トンクとゴミ袋を手にしたら、皆さん瞬く間にスイッチ・オン!

今後も地域清掃は定番プログラムとして継続して取り組んでいきますが、地域清掃以外にも、参加者の皆さんが楽しめるプログラムや、やりがいを感じられる活動を取り入れ、より充実した交流会づくりに取り組んでいきたいと思っております。

おひさまには、これまでに計二十六名の若年性認知症の方々が参加してくださいました。

初めから継続して参加されている方、一度きりの方、最近になって初めて参加された方、様々です。

認知症と診断されて間もない方、長く認知症と向き合ってきた方、これも様々です。

そして、認知症の症状もまた、人によって様々です。

おひさまで行うプログラムに、参加することが難しくなってきたり、参加するのにも物足りなく感じる方もおられます。

どんなプログラムに関心を示されるか、どんな表情で参加されているか、スタッフはどう関わるのが良いか：

プログラム内容の充実とともに、個人個人に合った参加の仕方を見極め、適切なサポートをしていくことが大切だと感じています。

食事の配膳や後片付け、ティータイムの準備等お手伝いをお願いすると、皆さんフットワーク軽く、積極的に引き受けてくださいます。

生き生きとお手伝いしてくださる姿や、清掃活動を終えた後の達成感ある表情を拝見し、日常生活の中で、若年性認知症の方が生き生きと



清掃活動の後、とても良い表情です

活躍できる場面が増えるような取組や働きかけの必要性を感じると同時に、ご本人が、何を大切に思い、毎日をどのように生きていきたいと考えておられるのか、お一人おひとりより深く理解して接していくことができると感じています。

新旧おひさまスタッフより：

＜新＞この四月からスタッフとして交流会に参加させていただいています、稗田です。交流会開始から毎回参加されているご家族様もいらっしやるとお聞きし、楽しみにされているのだなあと思えました。

初日の参加から個別の対応をさせていただきましたが、ご本人様に笑顔が見られるような心地よい時間を過ごしていただけるよう、向き合った時間を大切に過ごしました。

ご本人様はご家族様が少しでもそばに居ないことで不安になられたり、楽しんでる瞬間の笑顔から、突然不安な表情に変わったりで、何かの思いを感情表現される場面に出会いましたが、これからも何度かお会いしたり、ご家族様からの情報や先輩スタッフに学びながら、ご本人様に対応できるように、一緒に楽しみながら参加していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

＜旧＞皆さんこんにちは、大口です！平成二十五年三月末で定年を迎え、神戸市社協を退職いたしました。

在職中はお世話になりました。ありがとうございました。「おひさま」で皆さまからたくさん元気をいただきました、定年まで続けることができました。

退職後も変わらず元気で過ごしています。五月には二人目の孫も誕生しました！

また時間ができたら顔を出したいと思っております。

また、皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。

美味しいおやつ、ご紹介♪

三月、ティータイムのおやつに作った“お餅で作るいちご大福”が大変好評でした。「レシピをおひさまだよりに載せてほしい」とのリクエストにお応えしまして：

- ① 餅をレンジでトロトロになるまで柔らかく
- ② 鍋に砂糖と水を入れて沸騰させ、弱火にしたら餅を入れて、砂糖水と餅がトロトロに馴染むまで木しゃもじでこねる
- ③ 片栗粉をしいた皿に餅を流し入れて四等分に分け、手のひらに片栗粉をつけ、餅の片栗粉がついていない面を上にして手の平に広げ、あんこをイチゴをのせて包む

＜材料＞

- 餅：二個、水：大きじ三、砂糖：大きじ一
- イチゴ：四つ、あんこ：適量、片栗粉：適量

相談センターが開設しました

平成二十五年六月十九日、若年性認知症のご本人・ご家族、また担当ケアマネジャー等の相談支援を行う窓口として「ひょうご若年性認知症生活支援相談センター」が開設されました。

◇ 開設日 月々金曜日（祝日除く）
◇ 電話 〇七八・二四二・〇六〇一

相談センターでは、相談業務の他、本人・家族の会の支援、研修会開催による支援者育成、若年性認知症について周知・啓発活動が行われます。開設当日は、記念セミナーが開催され、講師の小長谷陽子氏（認知症研究・研修大府センター）より、若年性認知症の実態、高齢者との違い、就労と社会資源、大府センターの取組について、お話がありました。

会場では、ご本人・ご家族・スタッフ等、おひさままでお馴染みの顔ぶれも多く見られました。

H23.6.18

ダブル順子です！
NANA Farm 須磨にて、

三木順子さんとともに♡♡♡



また会いましょう!



＜若年性認知症交流会おひさま お問い合わせ先＞
神戸市社会福祉協議会 福祉事業2課
〒651-0086
神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター4階
電話:078(271)-5316 FAX:078(271)-5366
E-mail: zaitaku@with-kobe.or.jp
URL: http://www.with-kobe.or.jp